



全国総会へ参

平成28年の県隊友会
長等会同・定時総会が6
月23日、東京ホテルグ
ランドヒル市ヶ谷で開催
されました。

会同の内容詳細は、す
でに隊友新聞7月号にも
掲載されましたが会議終
了時をもって、新たに藤
縄元隊友会理事長が会長
に就任されました。

理事長は鹿児島県（出
水）出身の先崎一氏が続
投、新たに鹿児島県（喜
入）出身・元航空幕僚長

の外菌健一郎氏が常務理
事に就任されました。県
出身者が隊友会本部でも
活躍されていることは
大変喜ばしく、頼もしく
思っています。



全国表彰を受賞した盛重氏、松山氏、河野氏(左から)

りました。
定時総会には防衛省副
大臣や統幕・陸海空の幕
僚長、郷友会・父兄会な
ど

の防衛協力諸団体の全
国会長も参加され、表彰
式には航空自衛隊の甕島
分屯基地など全国の部隊
や関東地区の隊友会員も
参列し授賞されていまし
た。

県会員の表彰状は持ち
帰り、全国会長に代わり
私から受賞者の方々に直
接手渡しさせて頂きました
たことをここに報告致し
ます。

村山文彦 県隊友会長記

総会議案の審議では平
成27年度の事業・決算
ならびに平成28年度の
事業・予算計画が承認さ
れました。なお「終身会
員廃止」に関する隊友会
規則の一部変更も議決さ
れ、平成29年4月1日
から施行されることにな

副会長と 想うこと

市民・防衛・広報担当
の2Gp長に上番して2
年目になります。併せて
指宿支部長を兼務してい
ます。

隊友会は、皆様に出来
ることを出来る範囲で活
動してもらっており、お
蔭さまで、自衛隊に対す
る理解と信頼は非常に高
いものがあると認識して
います。



田淵精一 2Gp副会長

これはひとえに自衛
隊員の一身の危険を顧
みず事に当たる「姿勢
態度と実績が評価され
ての事とは思いますが
皆様方の活動も少なく
ならず貢献していると思
っています。ただ指宿地
区は、会員数も少なく会
誌の配分以外に活動して
いないことに反省してい
る毎日です。

隊友会についても最近
会員数の減少が問題にな
っています。指宿地区の
未加入会員に入会を勧め
ても好意的な返答は貰え
ません。駐屯地や演習場
が近傍に直接自衛隊
に貢献する活動が出来に
くいのも一因と思いま
すが、自衛隊とのかかわり
は現役時代だけで十分で
今更新たに活動はしたく

ないと思っ
ているよう
です。本音は年会費3千円に
見合うだけの価値ある行
動があるか、また会活動
に充当できる時間が捻出
できるかという問題では
ないと思っ
ています。

先年の安全保障法制の議
論でも話題になりました
が、我々も含めて国民の
間で十分論議され決定さ
れてきたかということ
です。我々の判断力も今一
ではありますが、こと安
全保障関連の議論にはそ
れなりに加わりたいとい
う思いがあるのでではと
思っています。

経験からくる自負心が
あるために、自分達が現
役時代感じていたことの
一つにどんな任務でも命
令があれば従事するのは
いきましよう。

◆発行 行◆
鹿児島県隊友会

◆発行責任者◆
村山文彦

◆印刷◆
(株)新生社
鹿児島市七ツ島
TEL 099-261-0111

災害協定締

島湾奥の市である。
支部は、本年に入り
協定締結を市に働きか
けていたが、隣県の熊
本地震の影響で機運が高
まり締結の運びとなった
本協定を踏まえ市の防災
訓練等へ参加し協定の実
効性を高めていきたい。

また、市長表敬時「地
域防災マネジャー」制度
を活用した退職自衛官の
市職員への採用について
も提案し、平成29年度
からの採用を検討する旨
の回答を得ており、自衛
隊鹿児島地本の援護活動
の後押しをした。

今後、市と隊友会の距
離が更に縮まり、効果的
な活動ができるものと期
待している。早速市防災
担当、父兄会及び隊友会
の主要メンバーによる懇
親会の計画が進行中であ
る。支部長・宮口修一記

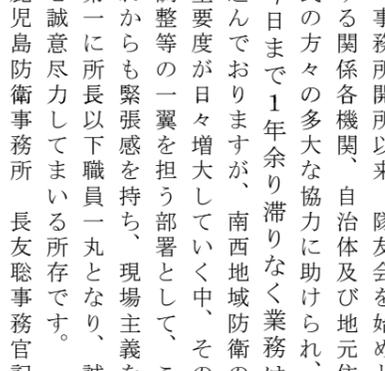


締結後握手する市長(左)と宮口支部長

鹿児島防衛

鹿児島防衛事務所は、
九州防衛局（熊本防衛支
局）の最先機関として、
昨年（平成27年）7月
1日に開所致しました。
所長以下5人と少人数
の組織ですが、管轄する
区域は鹿児島県全域であ
り、島嶼（とうしよ）部
を含め広範となっていま
す。県内には、鹿屋航空
基地や霧島演習場などの
重要な防衛施設が所在す
るほか、国分駐屯地、川
内駐屯地、島嶼部にもレ
イダーサイト等の施設が
点在しています。

鹿児島防衛事務所全景(MAX加治屋町ビル5F)



指宿の砂蒸しに浸かり
ながら思っています。
指宿支部長兼第2Gp
副会長 田淵精一 記

米陸軍との共同

8月30日、国分駐屯地におい
て12普通連の米訓練派遣隊員約12
0人の派遣部隊の出陣式が盛大に開
催されました。

鹿児島県隊友会からは、村山文彦
会長以下25人（副会長及び国分・
単人支部会員）が参加し、村山会
長が米国の訓練の成功、日米安保
を有効に機能させるものになる「米
国軍人との絆」を深めてきて欲しい
等との激励の言葉の後、根本正之連
隊長に激励品を手渡しました。

第12普通科連隊基幹部隊（約3
00人）の訓練派遣部隊が、ライジ
ング・サンダー（雷神・RTI）を優
秀な成績で終
了され全員が
元気で帰国さ
れることを祈
念します。



激励品を手渡す村山会長

県本部
事務局局長記

主な業務としては、
それら防衛施設、訓練
に係る周辺対策事業、
損失補償、施設取得、
建設工事に伴う連絡調整
地方協力確保事務等の各
種支援等が挙げられます
具体的には、南西地域
への警備部隊配備につい
ては、地元を始め、関係
各機関の皆様のご理解の
下、平成30年度末の部
隊新編に向け計画が進ん
でおります。

また、平成18年5月
の再編実施のための日米ロードマッ
プに基づく、岩国飛行場のKC-1
30の鹿屋航空基地へのローテーシ
ョン展開については、鹿屋市長始め
地元の皆様にご理解を頂き、昨年1
0月に受入れに同意して頂きました
長年の懸案事項の解決の課程に微
力ながら加わることが出来たことは
鹿児島事務所としての存在意義を感
じるところであります。このほか、
今後は、空母艦載機離着陸訓練（F
CLP）が実施可能な自衛隊施設の
整備などに係る連絡・交渉等の更な
る所要の増大が見込まれています。
事務所開所以来、隊友会を始めと
する関係各機関、自治体及び地元住
民の方々の多大な協力に助けられ、
今日まで1年余り滞りなく業務は
進んでおりますが、南西地域防衛の
重要度が日々増大していく中、その
調整等の一翼を担う部署として、こ
れからも緊張感を持ち、現場主義を
第一に所長以下職員一丸となり、誠
心誠意尽力してまいります所存です。
鹿児島防衛事務所 長友聡事務官記

回帰線

いつの頃からか忘れましたが、私は一
人を恨まず、羨まず、過去を悔やまず
と、自分に言い聞かせながら生きていま
す。実践するのはとても難しい事ですが
しばしば人間関係、人生に悩んだ時唱え
る呪文です。▼①「人を恨まず」アメリ
カのある女性は、息子を殺されてしま
いました。それ以来犯人が憎くて、息子の
誕生日、思い出の品を見るにつけ犯人を
思い出しては、その時の憎しみがこみ上
げ、泣いて過ごしたそうです。ある時こ
の気持ちを犯人に直接伝えて罵ろうと面
会に行きました。そこには、犯した罪を
後悔して泣いて謝る少年がいました。息
子と同じ年頃の犯人に向かって彼女は、
彼を許すと言いつつ刑務所を後にしたの
です。▼②「人を羨まず」人は、無いもの
ねだりするのが常です。羨んでばかりで
は何も進みません。羨む前に自分にも出
来る事を達成しようとして、チャレンジす
るよう心掛けたいと思っています。私は今
ギターに挑戦しています。▼③「過去を
悔やまず」人は誰でも、「ああ、あの時
こうしていればもう少し・・・」と思っ
たことがあるのではないのでしょうか。私
も過去そう思ったことが良くありました
しかし、過去は、反省はしても悔やんで
はならないと今は思っています。過去の
どの部分でも少し違っていたら今の自分
は、存在しないから。過去を悔やむ事は
今の自分の存在を否定することにつな
がるように思えるのです。▼今頑張れる自
分を誇りに思い、今できる事に最善を尽
くせば、将来振り返った時悔いることは
少なくなるような気がします。「過去を
悔やまず」は、「今に最善を尽くせ」や
「前を見て歩け」なのかもしれません。
過去の方が将来より少しづつ長くなつて
いく我々は、特に注意かも知れません。
隊友会に入会して間もない若輩者であり
ますから、これまで述べたことを、自分
で戒めながら生活しているところ
です。▼最後に私の好きな言葉で、みつをの詩
から「しあわせはいつも自分の心が決め
る」を紹介いたします。どんな時も、しあわ
せだと思えば、前向きに生きていき
たいと思います。松元支部 渡瀬隆二記

県総合防災訓練に参加

台風12号が近づくと、日置市東市来総合運動公園（江口浜、県消防学校含む地域）において、鹿児島県総合防災訓練が行われ、初めて鹿児島県隊友会として参加しました。

訓練には、県隊友会本部から会長以下5人、伊集院支部から林支部長（防災士資格保持）以下8



県本部及び伊集院支部

人の計13人が参加しました。伊集院支部は各団体の展示する車両等のグラウンドへの進入統制ならびにヘリの誘導の業務を担当、現役時代を彷彿とさせる節度ある手信号により、整齊と誘導案内を実施し、立派に任務を完遂しました。

現地災害対策本部運営訓練においては、現役時代に培った能力・経験を活かし、災害発生状況をパソコンで表示するなど本部の指揮所活動に於いて主要な役割を担いました。

また自治体の防災訓練を企画・運営する備総合防災ソリユーションに勤務経験のある川畑前隊友会長は、今後の災害発生時の県現地対策本部の運営に資する本部内の器材の配置及び災害対策本部

目標と人生

鹿屋陸空協議会会長



鹿屋陸空協議会会長

現職からOBとなった今日、現在までの進路のあり方は各々千差万別で各人によつて異なると思います。

私は現職時代の終始を通じ、粉骨砕身の四文字が四字成句として好きな言葉でありました。この前提には、体力・気力は勿論のこと、精勤・自学研鑽、相互信頼の三項目を常に念頭におき、職務に専念したのも幾分記憶に新しいところで、また、過去を振り返るとき、当時は勇気と自信誇りが唯一の想い出であり、今となった現在、多量なりと充実感を味わいつつ、多種多様な場面で比肩随踵を強く感じています。

過去があるから現在があり、一喜一憂しながらも、栄枯盛衰の今日、生活の中に夢があり、この夢こそが私の生甲斐であり、ここに目標を持ち、目標があるから計画があり、また実行があり、そこに小さな成果が得られ人生の感激と喜びに満足の一時です。

人生は目標があるから日々楽しく、家庭においては夫婦共々共通の認識の下、苦業を通じ心身ともに健康であることに感謝しつつ、最高いや最大の厚恩を痛感しています。話は変わりますが、私は鹿屋市の隊友会（陸空）の地区協議会の会長として、7年になります。融和、親睦等のあるべき姿、組織に困難な部分も多少ある中で、県の隊友会に貢献できるような微力ながら邁進する所存です。終わりに、目標は私の心の中に存在し、日々有意義に、また人生を一步ずつ踏みしめ、のんびり、進みたいです。

言葉でありました。この前提には、体力・気力は勿論のこと、精勤・自学研鑽、相互信頼の三項目を常に念頭におき、職務に専念したのも幾分記憶に新しいところで、また、過去を振り返るとき、当時は勇気と自信誇りが唯一の想い出であり、今となった現在、多量なりと充実感を味わいつつ、多種多様な場面で比肩随踵を強く感じています。

桜島観光船で納涼大会

鹿児島地区協議会（河野時彦会長）では8月6日（土）、恒例の納涼大会を実施した。



観光船の焼肉を楽しむ会員達

今年は約20年ぶりに桜島納涼観光船での実施となった。今回はブルーシートを持ち込んで車座になり雨に打たれたりして野趣たっぷりであったが船もよくなり溶岩焼き

をメインに飲み放題と今風の納涼大会であった。受付を済ませて乗船し、気のあつた者同士席に着くや否や肉を焼きテーブルごとの乾杯を合図に賑やかに飲み会が始まった。

船が港を出たところで河野会長の開宴挨拶に続き中央支部千堂さんの音頭で高らかに乾杯し本宴となった。連日の猛暑に加え焼肉とあつて暑い中にも海の風は心地よくまぶ腹ごしらえをする者、話に興じる者、沖合から鹿児島島の夜景を楽しむ者等思い思いの気分でお酒を飲んでいる。楽しいひと時も終盤を迎え最後は水中火花が海を照らし予定時間の2時間間もアツと言う間に過ぎて船も入港となり、次回

「宝暦治水工事」の紹介

石神民男氏

十 木曾三川の特徴

濃尾平野は、関東平野に次ぐ国内第二位の平野で美濃の国と尾張の国にまたがるため、この名が生まれた。

北アルプス、中央アルプスの連山を源流とする木曾・長良・揖斐川は、この平野を西寄りに流れて伊勢湾に注ぎ流域から運んだ土砂が次第に海に堆積して形成された沖積担当予定の東支部長久保さんの音頭でこの夏も元気に乗り切ることを祈念してお開きの乾杯となった。

鹿児島地区協議会
佐野中央支部長 記

平野である。東部は、名古屋街地西部は、養老山地、鈴鹿山脈まで一望遮るものがない広さであるが、地形は、東高西低であり、地質断面的にみると川底の標高は、木曾、長良、揖斐川の順に低くなっている。理由は、地形変動により、木曾山脈の隆起と伊勢湾の沈降が関係する。木曾川が最も大きく、運ぶ土砂も多くその分早期から堆積したためである。

※工事現場周辺の海抜
・油島付近 河口から14 km上流（マイナス60 cm）
・海津苑（マイナス20 cm）

東部は、名古屋街地西部は、養老山地、鈴鹿山脈まで一望遮るものがない広さであるが、地形は、東高西低であり、地質断面的にみると川底の標高は、木曾、長良、揖斐川の順に低くなっている。理由は、地形変動により、木曾山脈の隆起と伊勢湾の沈降が関係する。木曾川が最も大きく、運ぶ土砂も多くその分早期から堆積したためである。

※工事現場周辺の海抜
・油島付近 河口から14 km上流（マイナス60 cm）
・海津苑（マイナス20 cm）

錦江湾クリーン

7月2日（土）国分支部（支部長宮ノ原 拓）



ゴミ収集に汗を流す会員達

7月2日（土）国分支部（支部長宮ノ原 拓）は、国分下井海岸で行われた「錦江湾クリーンアップ作戦」に参加した。毎年海開きの日に行われる行事で、今年も家族

会員含む100数人が参加し、海岸線のゴミ等を拾い、海の安心安全の為に早朝から汗を流した。錦江湾は「霧島錦江湾国立公園」に指定されており、また下井海岸は、海水浴客で賑わう所でもあります。

海難事故防止の為に市民、地域団体等協力して今後も更にクリーンな海を維持して行くことが大事だと思った。

本作戦終了にあたり、参加者多数団体として隊友会国分支部長が参加者を代表して挨拶、クリーンアップ作戦の意義及び隊友会の役割・活動状況

等説明して参加者の労をねぎらった。クリーンアップ作戦終了後8時30分から支部の友好ランドゴルフ大会を下井浜公園で実施した。ベテラン、初心者64人が参加、和気あいあいの中、楽しくプレーして市民と隊友会の輪を広げた。当日は他の大会と重なり参加者が少なかつたが個人特別会員（家族）が10人参加して盛り上がった。

また昨年雨で実施出来なかつた分、賞品も盛り沢山で参加者に喜んで頂き盛会裏に終了した。

国分支部 事務局長 後村 勝義 記

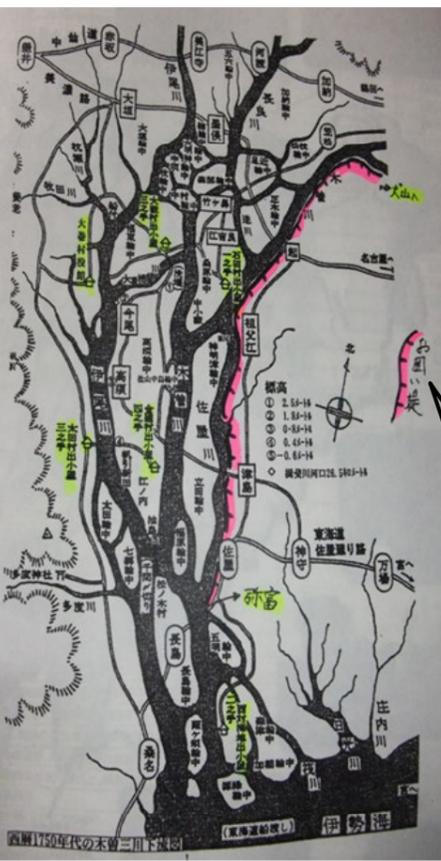
月例会ゴルフ

隊悠会は、「ゴルフを通じて会員相互の親睦と健康の維持増進を図るとともに隊友会の活性化に寄与する。」を目的とし「楽しく80歳まで頑張ろう」を合言葉に年6回奇数月に開催している。

現在、川畑初夫会長の他、役員6名を置いて会員数37名（80歳代5名、70歳代19名、60歳代12名、50歳代1名）で活動している。失礼な話ではあるが、ゴルフ愛好者の話では、「びんころり」だそう。小生の年配の知人もそうであったし、確かにそう思う！小生も最近変形性膝関節症で身体にガタがきているが、動ける限り続け、家族に迷惑をかける事もなく「びんころり」で大往生したいものだ。求む「びんころり」の希望者。11月例会17日蒲生C河野鹿児島地区協議会 記



7月21日入来城山CCにて優勝 林晃一郎氏



1750年代の木曾川下流域図

※御囲い
これだけの大規模工事を行った二年で完成させたというのは、驚異である。

※御囲い
幕府（尾張藩）は、慶長13年（同14年）にかけて、尾張藩を水害から守ると同時に西国大名への軍事上の備えも兼ねるため、木曾川左岸沿いに犬山・弥富までの全長48 km・高さ9〜14 mの堤防を築いた。

また、木曾川の左岸地域（尾張領）の堤防は、昔から高く造られており（御囲い堤）、洪水は、必然的に低い方へ即ち右岸地域（美濃地域）を襲

謹んでご冥福をお祈りします

- ◆国分支部 高目 昭行
- ◆前田 幸一
- ◆鹿屋陸空協議会 坂下 茂

晴れの受賞おめでとう

- ◎全国表彰
- ◆個人部の部 鹿屋陸空協議会 河野 時彦 殿 (会長)
- ◆国分支部 盛重 秀夫 殿 (支部相談役)
- ◆単人支部 松山 誠也 殿 (県相談役)
- ◆鹿児島地区協議会 上村 毅 殿
- ◆薩摩川内支部 宮脇 重夫 殿
- ◆鹿屋陸空協議会 地区協議会
- ◆鹿児島地区協議会 佐野中央支部長 石神民男 記

隊内生活体験

海上自衛隊鹿屋航空基地では、平成28年7月27日(水)から29日(金)の3日間で鹿児島・宮崎の生徒(中学生・高校生)を対象に「隊内生活体験」を実施しました。



ベッドメイキングを指導する自衛官

生徒には、2泊3日の隊内生活を通して自衛隊の姿を広く知ってもらい、

理解してもらおうことが目的です。参加した生徒たちには、P13Cの体験搭乗に興奮するとともに、自衛隊の動作の基本である基本教練では、団体行動の難しさを学び協力しながらのベッドメイキング(自衛官特有のシーツ張り)など初めての経験がたくさんできたと思います。

初めは恥ずかしそうに敬礼や挨拶をしていた生徒が大きな声で挨拶し、お互いに支えあう姿に成長を感じました。また、今年例年の参加者をはるかに超える72人の参加者があり大変嬉しく思いました。

最近では、昔「隊内生活体験」を経験して入隊を決めた隊員が、今では「隊内生活体験」の班長

町総合防災訓練

平成28年度大島郡瀬戸内町総合防災訓練が、8月28日(日)に実施されました。今年、3年に一度の総合防災訓練であり、古仁屋市街地区一帯で行われました。

平成28年度大島郡瀬戸内町総合防災訓練が、8月28日(日)に実施されました。今年、3年に一度の総合防災訓練であり、古仁屋市街地区一帯で行われました。

訓練内容については、「情報連絡・伝達」、「避難誘導」、「救出・救護」、「消火訓練」等であり、災害応急対策が迅速かつ的確に行えるような防災体制を図るとともに、併せて町民の防災意識の高揚を図ることを目的として訓練が実施されました。なお参加機関等は、瀬戸内町長を対策本部長とし、当隊を含め21団体が参加しました。



消火訓練参加の奄美分遣隊隊員

訓練内容については、「情報連絡・伝達」、「避難誘導」、「救出・救護」、「消火訓練」等であり、災害応急対策が迅速かつ的確に行えるような防災体制を図るとともに、併せて町民の防災意識の高揚を図ることを目的として訓練が実施されました。なお参加機関等は、瀬戸内町長を対策本部長とし、当隊を含め21団体が参加しました。

当隊が実施した訓練は倒壊家屋の中で負傷した住民を収容するエアータントの設置及び火災が発生した際、水源を小学校のプールとし、消防車による消火訓練でした。

訓練の成果としては、他の機関と協同して訓練することにより相互の連携及び総合的な防災に対する対処能力が強化でき、また地域住民との信頼関係の醸成にも寄与できたものと考えます。

最後に、今後も機会を得て他の機関、公共団体及び地域住民との訓練に積極的に参加し、防災意識の向上を図る所存です。海自 奄美基地分遣隊 総務課 平島洋一 記

ちびっこ大会を支援



救急法等の指導を受けるちびっこ

国分駐屯地(司令 根本正之 1陸佐)は、平成28年7月30日、市主催霧島市防犯少年少女のつどい(夏休みちびっ子大会)を支援した。

霧島市内の小学校4・5・6年生を対象とし、霧島市職員や各地域の役員等も参加して、躰指導や参加者の健全育成と自

衛隊に対する理解と関心を高め親近感を醸成させ防衛基盤の拡充を図ることを目的として毎年実施されている。

駐屯地の隊員は班長となり4つのグループを編成し、体験試乗、ロープ訓練体験、防犯講座、救急法及びドッジボール等を実施した。

開会式では、防犯連合会長、霧島市長、市議会議長及び司令代理として副連隊長から激励の言葉をいただいた。開会式後早速各グループごとにそれぞれの種目を実施した。昼食は、国分駐屯地人気ナンバーワンメニューの牛すじカレーで、みんな「美味しい」と口いっぱいにはおぼり、おかわりも絶えなかった。

暑からのドッジボールでは、暑い体育館の中で



川内駐屯地 中原曹長

昭和57年7月に自衛隊に入隊し、気がつけば来年6月で定年というところで、振り返りますと正直あつと言ふ間の自衛隊勤務だったように思います。またその中で色々な思い出が、走馬灯のように私の頭の中を駆け巡っているところでもあります。これより若干ではございますが、特に印象に残っている勤務について紹介したいと思います。

まずは平成3年8月か

元気にプレーしていた。このような地域の活動支援を通し、若い世代への募集広報を積極的に取り組むたい。

国分駐屯地 広報班 記

自衛隊勤務の思い出

道勤務(帯広)であり、

昭和57年7月に自衛隊に入隊し、気がつけば来年6月で定年というところで、振り返りますと正直あつと言ふ間の自衛隊勤務だったように思います。またその中で色々な思い出が、走馬灯のように私の頭の中を駆け巡っているところでもあります。これより若干ではございますが、特に印象に残っている勤務について紹介したいと思います。

まずは平成3年8月か

海上保安庁長官感謝状受賞

高木氏の受賞状況を紹介しますと、藍綬褒章(H17)、厚生労働大臣感謝状(H9、19)、県知事感謝状(H19)、その他地元の高木氏に敬意を表して、

今後も引き続き、海上保安及び海上保安等に関する活動に継続して取り組む予定です。

高木氏の受賞状況を紹介しますと、藍綬褒章(H17)、厚生労働大臣感謝状(H9、19)、県知事感謝状(H19)、その他地元の高木氏に敬意を表して、

平成28年7月21日隊友会南さつま支部の高木敏行氏は、海上保安庁長官から感謝状を授与されました。

これは、高木氏が長年にわたり海上防犯連絡員及び海上保安協力員として、海洋環境保全等の海上防犯に関する活動等に尽力された功労が評価され、今回の受賞となりました。

高木氏の海上防犯に関する活動内容は、毎日朝夕の2回自宅近くの吹上浜砂丘海岸の南端一帯を自転車(健康管理も兼ねて)により数十分間巡視

竹ノ内純一 支部長 記

高木敏行氏は、海上保安庁長官から感謝状を授与されました。

高木氏の海上防犯に関する活動内容は、毎日朝夕の2回自宅近くの吹上浜砂丘海岸の南端一帯を自転車(健康管理も兼ねて)により数十分間巡視



感謝状を受賞された高木敏行氏

高木敏行氏は、海上保安庁長官から感謝状を授与されました。

高木敏行氏は、海上保安庁長官から感謝状を授与されました。

即応予備

4月14日に発生した熊本地震により災害が発生し、自衛隊は災害派遣活動を直ちに開始しました。この災害派遣に際し

史上新となった東日本大震災に続き、即応予備自衛官が災害招集され、4月25日に出頭しました。鹿児島県からの災害招集は今回が初めてであり、35人の即応予備自衛官が災害招集に応じ、本土在住者に加え、種子島、屋久島、奄美大島、徳之島、沖永良部島の離島在住者も招集されました。指定部隊である24普通連本管中、同2中隊、同重迫中隊(えびの)及び8施大4中隊(薩摩川内)のそれぞれの部隊に配属となり、直ちに北熊本駐屯地に移動し、編成完了に臨みました。

活動内容は、給水支援、入浴支援、衛生支援、物資輸送支援、車両整備支援、通信運用点検支援と、その活動内容は、撤収命令により編成解除を経て、全員無事に帰隊しました。

活動内容は、給水支援、入浴支援、衛生支援、物資輸送支援、車両整備支援、通信運用点検支援と、その活動内容は、撤収命令により編成解除を経て、全員無事に帰隊しました。



衛生指導を実施する即応予備自衛官

史上新となった東日本大震災に続き、即応予備自衛官が災害招集され、4月25日に出頭しました。鹿児島県からの災害招集は今回が初めてであり、35人の即応予備自衛官が災害招集に応じ、本土在住者に加え、種子島、屋久島、奄美大島、徳之島、沖永良部島の離島在住者も招集されました。指定部隊である24普通連本管中、同2中隊、同重迫中隊(えびの)及び8施大4中隊(薩摩川内)のそれぞれの部隊に配属となり、直ちに北熊本駐屯地に移動し、編成完了に臨みました。

活動内容は、給水支援、入浴支援、衛生支援、物資輸送支援、車両整備支援、通信運用点検支援と、その活動内容は、撤収命令により編成解除を経て、全員無事に帰隊しました。

活動内容は、給水支援、入浴支援、衛生支援、物資輸送支援、車両整備支援、通信運用点検支援と、その活動内容は、撤収命令により編成解除を経て、全員無事に帰隊しました。

活動実績	
給水支援	約425トン
入浴支援	約770人
給食支援	約3300食
衛生支援	約370人

鹿児島地本 援護課 予備自班長 記

防衛省団体扱い自動車保険(指定店)
この団体扱いは一般契約に比べて保険料が

なんと19%割安です

*初回の契約時に退職時の辞令書又は在職証明書が必要です。

●詳しい事は………

連絡先: **099-229-4103**
FAX: **099-229-5176**

〔引受保険会社〕
損害保険ジャパン 代理店 ASJ鹿児島
※中古車販売及び車検も承ります。

安田 勇康 (隊友会員)

やさしい仕出し屋 有限会社にしやま食品

フリーダイヤル **0120-22-3045**
E-mail: nishiyama.zen@ace.ocn.ne.jp
西山携帯 **080-5803-3761**
真心こめた心づくしの膳

代表取締役社長 西山 崇 善
【元海上自衛官】
(感謝) 薩摩川内市宮内町1892
電話(0996)-22-3045
FAX(0996)-25-4510

○ 入来店: 薩摩川内市入来町副田6136
○ 北薩地域振興局食堂部 電話(0996)-25-5106

○ 会席料理 3,000円より
その他、ご予算に応じてご注文承ります。(税別)

・【精-1】2,350円
・【半精-1】3,000円
○ 精進料理 1,400円より
○ 半精進料理 1,850円より